

戸田市未来の学び応援プロジェクトの進捗について

学校発の提案を、応援しませんか？

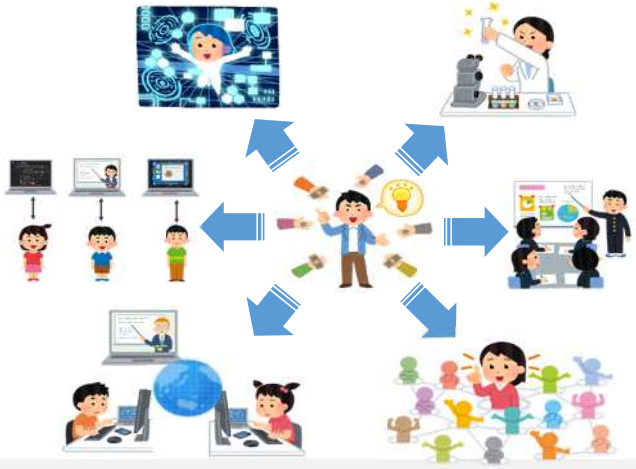
未来の学びの実現に向けたクラウドファンディングについて

- 「戸田市から日本の教育を変える」をコンセプトに、これまでの教育・学校の「当たり前」を問い直す、学校主体の夢のある学校改革や教育委員会による産官学連携の下での教育改革を通じた未来の学びの実現に向け、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施。
- 確保した資金は、一般の寄附金と併せて、戸田市未来の学び応援基金へ積立て。
- 令和４年度から「未来の学び応援プロジェクト」開始し、令和７年度で４度目の実施。

対 象 テーマ

- 希望がある学校が応募（任意）

以下の基本理念を満たし、これまでの教育・学校の「当たり前」を問い直す全国的なモデルとなるもの。
PBL（課題解決型学習）、部活動の地域展開、デジタルの活用、自然体験、インクルーシブ教育、教師の資質向上など



戸田市未来の学び応援基金条例
第２条に掲げる基本理念

- 脱・自前主義
- 脱・教師主導
- 脱・正解主義
- 脱・予定調和
- 脱・３K
  （経験と勘と気合い）

クラウドファンディング実施の背景

■先進的な取組の実施に向けた自主財源の模索

本市の取組は、先進的ゆえに効果の見通しが立ちにくく予算化が困難である。また、外部要因に左右されず事業を継続するため、独自の予算獲得手段としてクラウドファンディングに着目した。市長部局での実績がある「ふるさと納税型を活用したクラウドファンディングを実施

■プロフィットセンターになる ～doneeからearnerへ～

厳しい財政状況下、当局からは自主財源の確保が要請されている。

単なるお金の「使い手」から「稼ぎ手」へ。

■横並び主義、形式的な平等等から脱却

教育委員会から配分された予算内で取組を執行。学校に「やりたいこと（夢）」があっても、ヒト・モノ・カネといったリソースが不足し、やりたくてもやれないという状況。

学校や子供がやりたいことを主体的に提案し、共感する方の支援を受けてプロジェクト（＝やりたいこと）を進められるように。

GCFの仕組みを活用し、教育委員会は学校がチャレンジできる環境を整備。

クラウドファンディング実施状況

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
実施期間	10月3日～3月31日 （180日間）	10月4日～3月31日 （180日間）	10月21日～3月31日 （162日間）	①10月24日～1月21日 ②1月29日～3月31日 （計152日間）
目標金額	5,000,000円	5,000,000円	3,000,000円	1,000,000円
支援人数	62人	96人	37人	20人
達成率	100%	100%	100%	101.8%
提案件数	11件 小学校9件 中学校1件 市教委1件	10件 小学校8件 中学校1件 市教委1件	10件 小学校9件 中学校1件	6件 小学校6件









令和６年度　提案プロジェクト（令和７年度に事業実施）

提案主体	タイトル	必要な経費
戸二小	インクルーシブな学校～個別最適･協働的な学びの空間づくり～	自立した学びが生まれる空間づくりに取り組むための**多様なブース設置**に係る経費、多様性理解授業の全校実施や特別支援教育で活用されている**サポート用具の通常学級配備**等に係る経費
新曽小	新曽小 DREAM UP プロジェクト ～新曽の杜と南校舎を夢や希望があふれる場所へ再生しよう～	実社会にも生きて働く知識･技能を育むための2大プロジェクト（**①新曽の杜の再生 ②旧校舎の再利用**）**の遂行に必要な物品等の整備**に係る経費
美谷本小	これからも一緒！ 御神木けやき活用プロジェクト	**シンボルツリーの活用に向けた企業等のコンサルティング**に係る経費、検討結果を踏まえた**活用に必要となる物品等整備**に係る経費
戸田東小	「新たな学びのカタチ」を子どもとともに ～Experience3.0～	PBLの実施に際し、「子ども」と「地域」、「NPO」、「企業」等が主体的に**マッチングできるプラットフォームの継続**と**発展させていくための改修**等に係る経費
戸田南小	多様な他者と共生していく児童の育成を目指して	子供たちが、チームワークや自尊感情、他者理解などを学ぶための**体験プログラム**と**教職員への研修**の実施等に係る経費
喜沢小	子供たちが未来を創る　これからの当たり前を創る	一人一人の多様なWell-beingを実現する学校づくりに向けた、カリキュラム編成と教育活動の実施に向けた、**研修の充実**や**先進地への視察**等に係る経費
笹目東小	先端技術を活用した学びの創造 ～VR等を活用し現実を豊かに、学びを豊かに～	その場にいるような没入感やリアルな体験を得られるようにするなど、**学び方を豊かにするための備品等購入**や**研修の実施**等に係る経費
美女木小	Sustainable Schoolyard Dreams ～学びがホンモノ化するPBL～	子供達の知りたい、やりたい、解決したいを支援し、PBLの活動を充実させるための、**専門家招聘**、**活動支援に係る人材受入**、**必要な物品等の購入**等に係る経費
芦原小	職場環境の改善による働きがい改革	学校における働き方改革、教育の質向上につなげるための職場環境の改善に必要な、**企業等のコンサルティング**や**物品等購入**に係る経費
戸田中	教師の学びを子供の学びにつなぐためのプロジェクト～戸田中学校 教師の探究プロジェクト～	生徒の学力向上に向けて、**教師の授業観をアップデートするための研修受講等**に係る経費

インクルーシブな学校～個別最適・協働的な学びの空間づくり～（戸田第二小学校）

○　インクルーシブな学校づくりをするために、子供たち一人一人の学びが**個別最適化される環境を目指して**、多様性を意識し、**必要な支援がすべての子供たちに届く空間づくり**を実施。

○　新校舎にローテーブルやマット、ホワイトボード、モニターを配置し、**個別最適かつ協働的な学びの拠点として整備。**全学級にイヤーマフ等の支援ツールを配置し、誰もが自分に合ったスタイルで学べる環境を整えた。その結果、子供たちの学びの選択肢が広がり、学習に対する意欲、学級生活満足度の向上などにつながった。



ホワイトボードを活用する様子



スクイーズボール
クールダウンする時に使用できる



イヤーマフ
音に敏感な児童や、周囲の音を遮断したい時に使用できる



リーディングトラッカー
文章が読みやすくなる

これからも一緒！けやき活用プロジェクト（美谷本小学校）

○　倒れてしまったシンボルツリーである「けやき」。長年学校を見守ってきた**「けやき」を後世に残したい**という思いがあり、子供たちや地域、そして協力してくださる企業等の皆様とともに、**けやきを後世に残せるものをつくるためには学校予算で賄いきれない費用が必要。**

○　寄附金を活用し、木材加工機**（ベルトソー、ベルトサンダー）を導入したこと**によってPBL（課題解決型学習）などで必要になった際、いつでもけやきを加工できる体制ができ、**子供達のアイディアが次々と実現しています。**。



倒木した直後のけやきの様子



弔問に訪れる卒業生、在校生



ベルトサンダーでけやき磨き



ベルトソーでモルックづくり

先端技術を活用した学びの創造
～VR等を活用し現実を豊かに、学びを豊かに～（笹目東小学校）

○　教師自身が最先端技術に挑戦し、アップデートし続ける姿を子供たちに見せることで、**子供たちに実社会で生きてはたらく力（コンピテンシー）を育む土壌を作るためにVR等を活用。**

○　VRゴーグルを用いた仮想空間での英会話、モーションキャプチャーを活用した体育、AIとの対話学習。これまでの大学連携で進めてきた実践を、**寄附金で機材を自前で揃え始め、持続可能な取組へと進化。**



VRゴーグルを活用した外国語授業



モーションキャプチャーを活用し自分の動きを動物アバターで確認





スクールAIの活用

Sustainable Schoolyard Dreams
～学びがホンモノ化するPBL～（美女木小学校）

○　環境問題を自分事として捉え、行動することができるように**「Sustainable Schoolyard Dreams」を始動。**子供たちが自ら校長へ予算交渉のプレゼンを行うほど主体的な学びが育っているものの、**「子供たちの夢」を実現するためには、学校予算で賄いきれない費用が必要。**

○　寄附金を活用し**苗や土、プランター等を揃え、地域の「名人」に教わりながら野菜づくりを実施。**厳しい残暑で苗がすべて虫に食べられてしまうという失敗がありながら「虫に野菜を食べられないようにするためのプロジェクト」を立ち上げ、試行錯誤しながら野菜を育て上げた。育て上げた野菜は教職員や保護者の皆様へ販売、給食での提供も実現。



プランターでの育苗の様子



野菜販売の様子



地域の方に野菜作りを教わる様子

提供した給食



教師の学びを子供の学びにつなぐためのプロジェクト
～教師の探究プロジェクト～（戸田中学校）

○　生徒が毎日「ワクワク」しながら学力向上に繋がる学習環境を整え、教師と子供の学びを共に引き上げるために**教員研修の高度化により授業をアップデート**。

○　STEAM機器を使いこなすための校内研修を実施することで、実際の授業において「生徒がデザインしたものをその場で形にする」といった、**創造性を刺激する教育活動が実現。**「アサーティブ・コミュニケーション」のオンデマンド研修を導入することで、**学校全体の「生徒への伴走力」の底上げに繋がった。**



レーザー加工機



オンデマンド研修の様子



３Ｄプリンター

クラウドファンディングを実施して

■ 成果

・学校として・・・

✓**課題に即時対応** ▶ 支援を受け目の前の課題に対応できる

➢特定のトピックについて専門家に伴走支援を依頼

➢外部人材を招いて出前授業を実現　など

✓**教育の質の向上**　▶ チャレンジをしたことで子供の変容を見る機会が増える

✓**モチベーションの向上** ▶ 学校としてもやりたいことだから前向きに楽しんで取り組める

・教育委員会として・・・

✓**広く支援を集めやすい** ▶ ・GCFはふるさと納税の仕組みを利用のため税制上メリットあり（返礼品なし）

・卒業生、市民など地元の方から寄附（戸田市民にも税制上のメリットはあり）

・視察等で訪問のあった自治体関係者から寄附

（戸田市の取組は失敗も含めて全国にオープンに、共感し応援に）

✓**現場のニーズに即した事業が実現** ▶ 学校ごとの課題感に応じたボトムアップの取組が実現

■ 課題

多くの支援者に制度を知ってもらえるような広報の実施

・寄附額の減少▶支援者の関心を維持し続けることが難しくなっている

・提案件数の減少▶プロジェクトを企画・運営する教職員の負担

学校がどんどんチャレンジしてみようという意識を持てるように趣旨やメリット等を改めて学校に伝える

今後の実施スケジュール（提案年度別）

	令和８年度提案	令和７年度提案
2026.4		• ４月に１００万円の補助金化
2026.6	• 各学校に対する募集開始	• 随時、提案事業を実施
2026.8	• 各学校からの募集締切 9月中旬〆切	
2026.9	• クラウドファンディング実施に向けた準備･調整	
2026.10	• クラウドファンディング開始 ※ 以降、随時広報活動を実施	• 事業の進捗状況をHP等で報告
2027.1	• クラウドファンディング終了 ※ 以降も一般寄附は受付	
2027.4		

～　未来の学び応援プロジェクト　～

未来の学びの実現に向けたクラウドファンディングPR動画

▲視聴はこちら